



令和3年度学校だより

甲府市立南西中学校

銀杏 (いちょう)

第31号

学校教育目標「たくましい心と体を持ち 学び合える生徒の育成」

文責：校長 石井 敬



今冬は1月・2月の寒さが厳しかっただけに、3月に入ってから暖かさは春が少しずつ近づいているを感じさせてくれます。私の家の近くにある梅の名所「不老園」では、すでに白梅や紅梅など様々な種類が咲いており、ウォーキング中の私の目を楽しませてくれていますが、例年のような観光客の賑わいは恐らく影を潜めているのではないかと思います。コロナの感染状況は高止まりの感があり、子どもたちの学校生活にも我慢が続いています。しかし、分割授業は続いているとは言え、全校が毎日登校しお互いに顔を合わせる中で生活できているのはありがたいことであり、与えられた状況の中で今できることを精一杯やる、知恵を出し合い少しでもより良いものにしていくという気持ちを、子どもたちも私たち職員も大切にしながら、3月を締めくくっていきたいと思います。

さて、今年度最後の月となりました。“行く月”の1月、“逃げる月”の2月に続き、“去る月”の3月です。3年生は公立高の後期入試を終え、ホッと息をつく間もなく卒業式の練習に取り組み始めました。コロナ禍の卒業式とあって今年度も例年どおりとはいきませんが、学び舎を巣立つ決意と3年間の思いを込めた“令和3年度緑学年にしかできない卒業式”を創り上げてくれることでしょう。

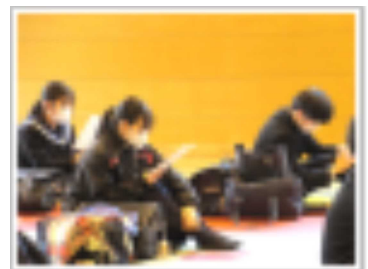
また、1・2年生は、8日の「三年生に贈る会」に向けて準備を進めています。1・2年生は3年生に、卒業生は在校生に、言葉や振る舞い、自らの姿を通してそれぞれの思いを「繋」いでいく、そんな締めくくりを迎えられるよう努めていきます。

残りひと月足らずとなりましたが、最後まで変わらぬご理解とご協力、ご支援をよろしく願っています。

いざ出陣！ ～入試も一段落～

1月初旬に私立高校の推薦入試、下旬には公立高校前期募集検査と続き、2月中旬になると今度は私立高校の一般入試が行われ、そこまでの段階で学年全体の約半数がうれしい知らせを各高校からいただくことができました。残りの半数は、3日・4日に公立高校の後期検査に挑み、合格発表日までドキドキしながら結果を待つこととなります。

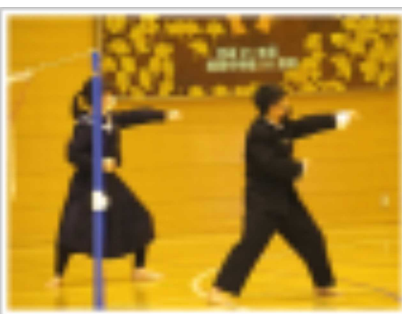
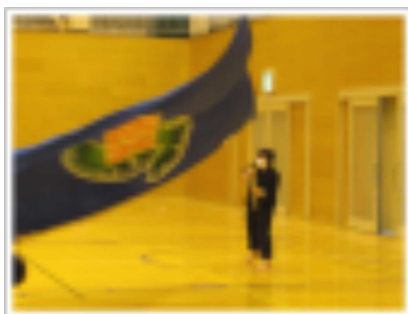
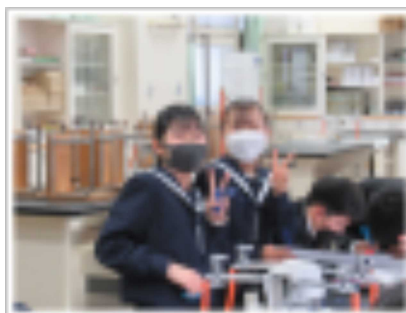
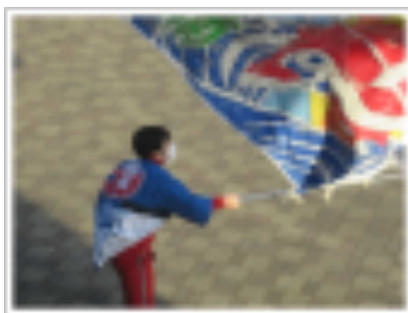
前日の2日には事前指導が行われ、悠武館に集まった30余名は緊張感のある引き締まった表情で長澤主任の話に耳を傾けていました。特に、「自分にとって難しいと思える問題にいつまでも固執することなく、できる問題から落ち着いて解いていくことが大事なんだよ！」というアドバイスを誰もが鋭い眼光で聞き入っていました。そのアドバイスどおり、本番ではできる問題から確実にものにしていったのではないかと思います。“サクラ咲く”の知らせが全員に届くことを願っています。



1月26日から分散登校が始まり、約1ヶ月にわたって活動できない日が続いたことで、「三年生に贈る会」の内容や計画は大幅に変更せざるを得なくなりました。生徒徒会が手がける初めての大きな仕事は荒波への船出となりましたが、それでも下を向かずに、いちょう祭で培ったノウハウを生かして感謝の気持ちを伝えようと頑張っている姿には胸が熱くなります。それは、3年生が1・2年生にこの1年間ずっと見せてきた姿であり、繋いでいくべき大事な思いはしっかりと受け継がれていることを感じます。

今週から、放課後45分間だけ、三贈会の取組時間を確保しています。限られた時間、限られた日数ではありますが、南西中の子どもたちならこの中でできる最高のものを創り上げるに違いありません。スローガン『繋心』の達成は、もうそこまで来ています。

三贈会取組 フォトギャラリー



お知らせ

来週3月7日（月）～3月11日（金）のコロナ対応は今週と同様とし、1年生は通常授業、2年生は分割授業、3年生は学年運営となります。3年生は卒業式練習が主になりますが、学級単位で活動を行うときには1組は理科室、2組は音楽室を使用し感染対策とします。

